

第7回運営推進会議記録

事業者名および住所	合同会社 たけのこカンパニー 逗子市逗子3-3-23										
事業所名および住所	リハビリセンター彩 逗子市逗子3-3-23										
開催日	令和4年5月23日（月）										
開催場所	リハビリセンター彩										
出席者	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 60%;">事業者</td> <td>竹内 美穂</td> </tr> <tr> <td>家族代表</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>民生委員</td> <td>木村 様</td> </tr> <tr> <td>逗子市高齢介護課</td> <td>青山 様</td> </tr> <tr> <td>逗子市中部地域包括支援センター</td> <td>喜代門 様</td> </tr> </table>	事業者	竹内 美穂	家族代表	1名	民生委員	木村 様	逗子市高齢介護課	青山 様	逗子市中部地域包括支援センター	喜代門 様
事業者	竹内 美穂										
家族代表	1名										
民生委員	木村 様										
逗子市高齢介護課	青山 様										
逗子市中部地域包括支援センター	喜代門 様										
議題・課題	<p>(1) 利用者状況について</p> <p>(2) 職員の状況</p> <p>(3) 報酬加算状況</p> <p>(4) 事故報告書</p> <p>(5) 活動報告</p> <p style="padding-left: 20px;">①個別機能訓練について ②地域交流について</p> <p style="padding-left: 20px;">③作業療法士実習生受け入れ ④その他</p> <p>(6) 休業について</p> <p>(7) 質疑応答、要望、意見交換</p>										
活動報告	<p>①個別機能訓練について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハンドセラピー 12名(要介護クラスのみ再開) ・歩行補助具相談 1名 ・腱鞘炎予防ストレッチ 3名 ・麻痺側手指訓練 4名 ・応用歩行訓練 4名 ・補装具などの相談 2名 <p>②地域交流について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年 1月18日 南が丘団地 光明寺団地 体操広場講師 感染予防のため中止 ・令和4年 6月23日 南が丘団地 光明寺団地 体操広場講師 <p>③作業療法士実習生受け入れ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年 4月11日～2か月 東京工科大学 1名 ・令和4年 6月13日～2か月 東京工科大学 1名 <p>④その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・杖ホルダーの設置 (2か所) ・ひやりはっと発生したためマシン配置を変更 										

<p>休業について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年 1月6日午後 悪天候(大雪)による休業 ・令和4年 1月7日終日 悪天候(大雪)による休業 ・令和4年 1月12日午後～1月31日 スタッフ2名新型コロナウイルス感染症濃厚接触者に認定され、営業可能な人数を確保出来ないため休業。 ・令和4年 3月30日～4月10日 スタッフ2名新型コロナウイルス感染症濃厚接触者に認定され、営業可能な人数を確保出来ないため休業。
<p>質疑応答・要望・意見交換</p>	<p>(木村民生委員よりご意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響は大きいと感じている。引き続き感染対策を行い、安全にサービス提供をして欲しい。 <p>(ご家族代表よりご意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひやりはっとの対応など、変化に伴って工夫しているところが良いと思う。 ・本人が今後加齢に伴ってどう変化していくのだろうと考えている。予後予測や評価について情報が欲しい。 ・今回は運営推進会議で事業所の情報を知ることが出来ているが、参加しないときも状況を知れると良いと思う。 <p>(喜代門氏よりご意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長期間休業されたため、担当ご利用者がショックを受けていた。BCP(事業継続計画)の策定が義務化されたため、事業を継続できる体制作りをするべきである。 <p>→この意見に対してご家族代表より質問</p> <p>社会福祉協議会や地域包括支援センター、市役所などでサポートする仕組みはないのか。Zケアネットはどうか。</p> <p>→喜代門氏の回答</p> <p>業務継続できるよう国から定められているもので、事業所に対応する必要があるため他機関でサポートする仕組みはない。Zケアネットは継続しているが、この件に関しては対応していないと思う。</p> <p>→竹内より</p> <p>コロナ禍による業績の落ち込みがあり余分に職員を雇うことが難しい状況。夫婦で経営しているため、子どもが罹患すると2人同時に濃厚接触者になってしまう。彩の職員は自主的に外食や県外の実家への帰省を自粛するなど日ごろから感染対策を実施しており、子どもに関しても習い事をやめたり学童保育を退所したりとできる対策をしていた。パートの作業療法士が現在育児休業中だったこともあり、人員を確保することが困難だった。対応方法を検討していく。</p> <p>(青山氏よりご質問)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・育児休業の職員は戻ってくる予定か。

	<p>→竹内より 戻ってくる予定である。 (青山氏よりご意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年行った実地指導では大きな問題はなく、アドバイザーからもよく勉強しているとのことだった。 <p>(竹内より)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・郵便配達に時間がかかるようになったため、利用実績をパスワードをかけたメールで送付する事業所が何か所がある。FAXで個人情報を送ることは不安なため、今後協力してくれる事業所が増えると良いと思っている。
<p>その他必要な事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・喜代門氏のご意見を受け、BCPに照らし事業所内で休業時に行った対応を確認した。 <p>→休業時に領収書と請求書を郵送した際、自宅でできる体操のプリントを同封した。プリントについては、作業療法士がそれぞれ個別に評価し、回数と内容を変更したものを使用した。機能訓練型の通所サービスとしてできるフォローになっていたと考える。職員を補充して営業することは、経営的に困難であることを確認した。</p>